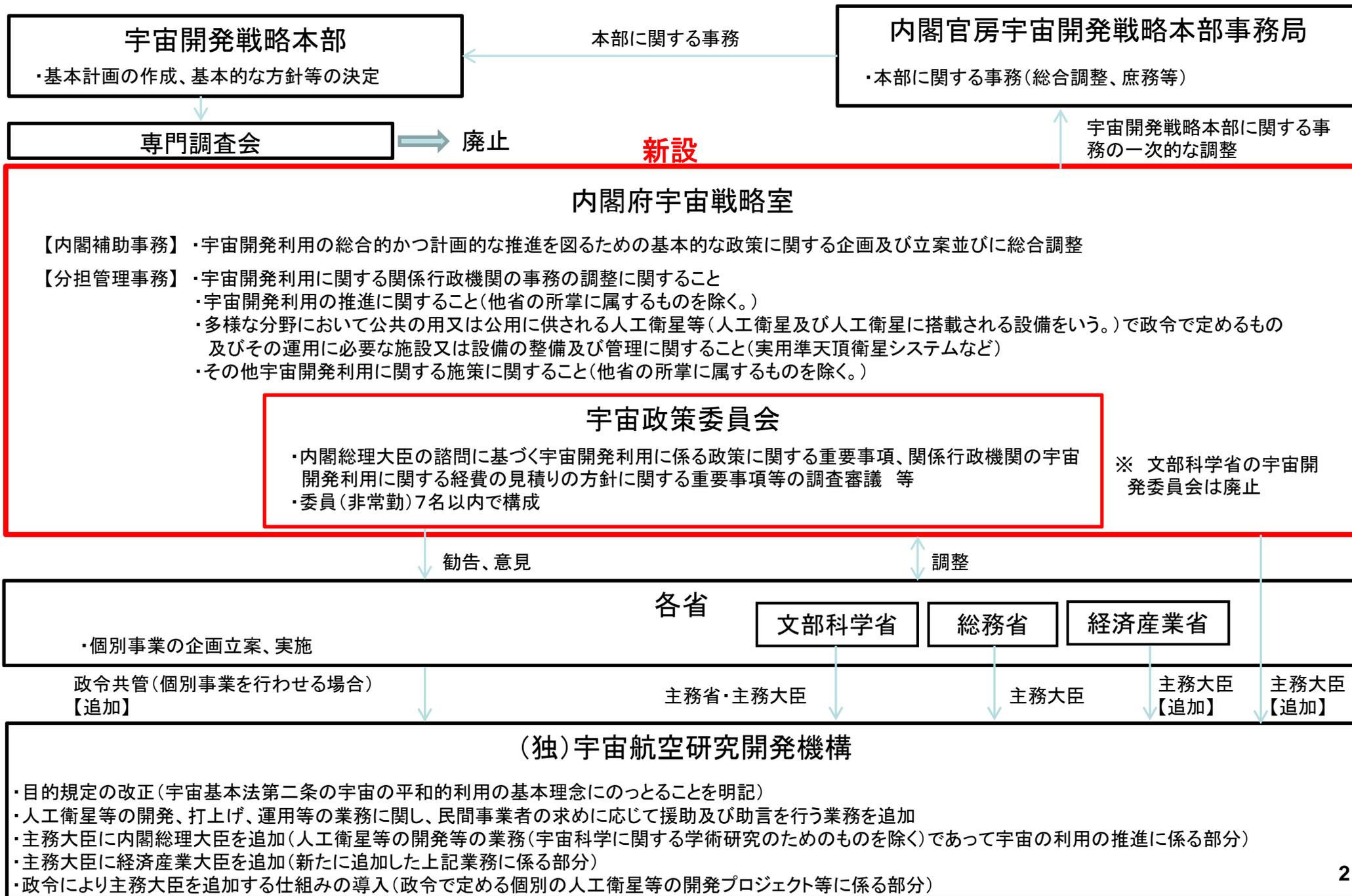


我が国宇宙政策の課題と方向性

平成 24 年 9 月
内閣府宇宙戦略室長
西本 淳 哉

宇宙開発利用の戦略的な推進体制



○内閣府宇宙戦略室； 我が国宇宙政策の司令塔

- ・内閣補助事務として、宇宙開発戦略本部（本部長；首相。全閣僚で構成）を補佐
- ・宇宙政策委員会の審議を経て、
 - ・経費の見積もり方針を策定、各省に指示、各省をフォローアップ
 - ・宇宙基本計画に盛り込むべき事項について検討。
- ・公共インフラ及び公用となる衛星の整備、運用（準天頂衛星等）

○JAXA；政府全体の宇宙開発利用を技術で支える中核的な実施機関

- ・「平和目的」規定を宇宙基本法と整合化。
- ・民間の求めに応じて援助及び助言を行なう体制に。
- ・各省のニーズに応じて衛星等を開発、各省も政令追加によって主務大臣に。

宇宙政策委員会 委員

(委員長) 葛西 敬之 東海旅客鉄道株式会社代表取締役会長

(委員長代理) 松井 孝典 千葉工業大学惑星探査研究センター所長、
東京大学名誉教授

青木 節子 慶応大学総合政策学部総合政策学科教授

中須賀 真一 東京大学大学院工学系研究科教授

松本 紘 京都大学総長

山川 宏 京都大学生存圏研究所
宇宙圏航行システム工学分野教授

山崎 直子 宇宙飛行士

宇宙政策委員会の調査審議事項

1. 具体的な調査審議事項

- 関係行政機関の宇宙開発利用に関する経費の見積りの方針
- 新たな宇宙基本計画に盛り込むべき事項
- 全体及び個別分野の宇宙政策の中長期的な基本戦略
- 政府の主要な宇宙関係の施策・事業の評価
- 政府の主要な宇宙関係プロジェクトの評価等その他宇宙開発利用に関する重要事項 等

2. 平成24年度における当面の審議

(1) 25年度宇宙開発利用に関する経費の見積りの方針についての調査審議

7～8月 「経費の見積りの方針」の審議、とりまとめ

10～11月 「経費の見積りの方針」のフォローアップ

(2) 新たな宇宙基本計画に盛り込むべき事項についての調査審議

8月下旬～11月 月2回程度を目途に開催

12月 新たな宇宙基本計画に盛り込むべき事項に関する報告書とりまとめ

1～2月 新たな宇宙基本計画の策定(宇宙開発戦略本部決定)

平成25年度宇宙開発利用に関する経費の見積り方針

○8月15日に宇宙政策委員会として取りまとめ、17日に各省に提示。

I 基本認識

- 我が国の宇宙開発政策は、これまでの技術開発に重点を置いた取り組みから、産業競争力の確保や国民生活の質の向上等を含めた総合的な政策が必要な段階となった。
- 我が国の現下の厳しい財政状況を踏まえ、予算の重点化と事業間の相乗効果を高め、重複を排除しつつ効率化を図ることが重要。

II 平成25年度宇宙開発利用に関する経費の見積り方針

上記の認識の下に、各分野における「重点化の方針」「事業の効率化の方針」等を記述。

新たな宇宙基本計画の策定について

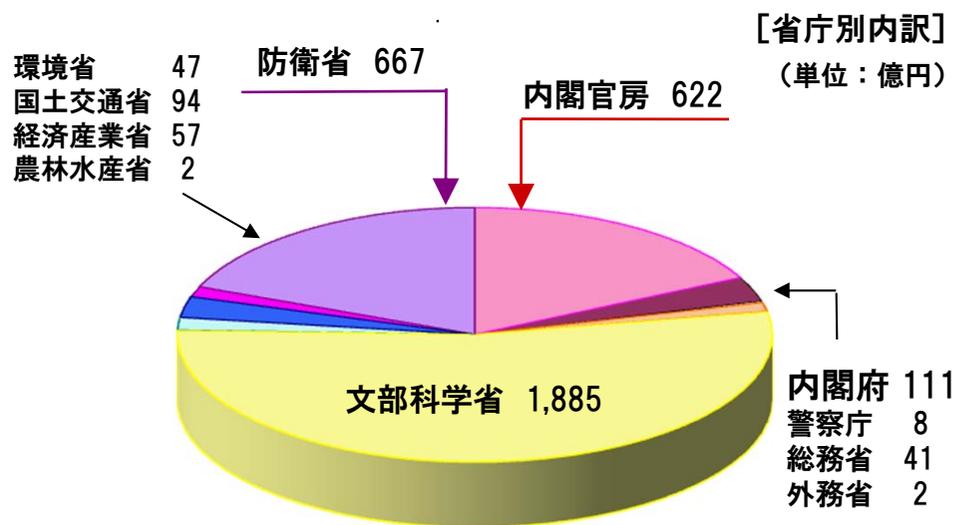
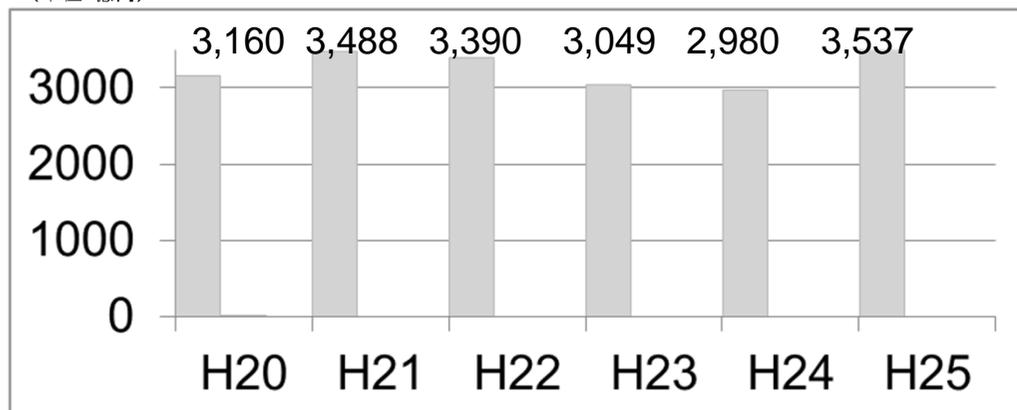
- 今般、我が国宇宙政策の司令塔として、内閣府に宇宙戦略室が設置され、新たな宇宙開発利用政策の推進体制が整備された。
- これまでの我が国宇宙政策は技術開発に重点が置かれてきたが、これからは、国民生活の質の向上、安全安心、安全保障等、宇宙利用の観点が重要である。また、これらを支える産業基盤の維持、発展が重要である。今後の宇宙政策はこれらを総合的に捉えたものでなければならない。
- また、現下の厳しい財政事情を踏まえれば、総花的なものではなく、プログラムの優先順位付けが不可欠。
- このため、現行の宇宙基本計画(平成21年6月策定)を見直し、新たに平成25年度から5カ年の宇宙基本計画を策定する。
- なお、今般のJAXA法改正により、JAXAの中期目標(平成25年度からの5ヶ年間)は宇宙基本計画に基づくこととされている。また、同中期目標は内閣府、総務省、文科省、経産省が共同で策定することとなる。

平成25年度概算要求における宇宙関係予算（速報値）

【全府省】 平成24年度概算要求 3,537億円（特別重点要求・重点要求を含む）
 （対前年度当初予算比558億円増（18.7%増））

【宇宙関係予算の推移】

（単位：億円）



府省名	24年度 当初予算 (①)	25年度			概算要求 (⑤=②+③+④)	対前年度増▲減 (増▲減比) (⑤-①)	
		一般要求 (②)	特別重点要求 (③)	重点要求 (④)		増▲減	(増▲減比)
内閣官房	630	611	-	11	622	▲8	(▲1.3%)
内閣府	112	109	-	2	111	▲1	(▲0.8%)
警察庁	8	8	-	-	8	+0	(+3.8%)
総務省	40	40	-	1	41	+1	(+3.4%)
外務省	2	2	-	-	2	▲0	(▲9.1%)
文部科学省	1,739	1,477	15	393	1,885	+146	(+8.4%)
農林水産省	4	2	-	-	2	▲2	(▲58.8%)
経済産業省	37	32	-	25	57	+20	(+53.8%)
国土交通省	96	94	-	-	94	▲2	(▲2.1%)
環境省	24	10	37	-	47	+24	(+99.9%)
防衛省	288	654	-	13	667	+379	(+131.8%)
合計	2,980	3,039	52	445	3,537	+558	(+18.7%)

（単位：億円）

宇宙関係予算（平成25年度概算要求）【各府省の主な施策】

全府省庁合計 3,537億円

【内閣官房】	62,230	(▲790)	【農林水産省】	169	(▲242)
● 情報収集衛星関係経費	62,215	(▲787)	○ 農林水産施策におけるリモートセンシング技術の活用	26	(▲27)
【内閣府】	11,095	(▲85)	○ 農林水産施策における衛星測位技術の活用	144	(▲215)
○ 実用準天頂衛星システムの開発・整備・運用	10,553	(▲50)	【経済産業省】	5,737	(+2,007)
● 宇宙空間の戦略的利用の推進	179	(新規)	● 超高分解能合成開口レーダの小型化技術の研究開発	2,495	(+2,495)
● 宇宙輸送戦略の立案	23	(新規)	○ ハイパースペクトルセンサ等の研究開発	1,530	(▲270)
○ 衛星通信回線の利用料(防災)	141	(+32)	○ 石油資源遠隔探知技術の研究開発	740	(▲131)
【警察庁】	818	(+30)	○ 宇宙産業技術情報基盤整備研究開発(SERVISプロジェクト)	127	(▲23)
○ 高解像度衛星画像解析システムの運用・通信衛星使用等	818	(+30)	○ 準天頂衛星システム利用実証事業	50	(新規)
【総務省】	4,107	(+135)	【国土交通省】	9,429	(▲202)
○ 災害時に有効な衛星通信ネットワークの研究開発	1,548	(+549)	○ 静止気象衛星業務等	8,329	(▲114)
● 将来の衛星通信技術の検討	100	(新規)	○ 人工衛星の測量分野への利活用	920	(▲105)
○ 宇宙通信システム技術に関する研究開発	2,062	(▲23)	【環境省】	4,736	(+2,367)
○ 消防庁ヘリコプターにおけるヘリサットの整備	294	(±0)	○ 温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」(GOSAT)による地球環境観測事業	110	(▲10)
【外務省】	189	(▲19)	● 温室効果ガス観測技術衛星後継機(GOSAT-2)開発体制整備等	774	(+81)
○ 衛星画像判読分析支援	173	(▲20)	○ 衛星による地球環境観測経費		
○ 宇宙外交推進費	15	(+1)	【防衛省】	66,721	(+37,934)
【文部科学省】	188,499	(+14,640)	● Xバンド衛星通信中継機能等の整備・運営事業を含む衛星通信の利用	21,647	(+8,718)
○ イプシロンロケット	8,200	(+2,590)	○ 商用画像衛星の利用等	7,491	(▲344)
● 小惑星探査機「はやぶさ2」開発	11,399	(+8,412)	● 宇宙を利用したC4ISRの機能強化のための調査・研究	1,157	(▲761)
○ 日本実験棟「きぼう」の運用・科学研究等	14,087	(▲299)	○ 弾道ミサイル防衛(BMD)(宇宙関連)	36,414	(+30,326)
○ 宇宙ステーション補給機(HTV)	24,384	(±0)			
● 陸域観測技術衛星2号(ALOS-2)の衛星開発	14,618	(+11,036)			
● 温室効果ガス観測技術衛星後継機(GOSAT-2)の研究開発	400	(新規)			

各府省庁予算の単位は百万円。()内は対前年度当初予算比+増▲減。

●は特別重点要求、重点要求を含む事業。四捨五入の関係で合計は必ずしも一致しない。

宇宙関係予算（平成25年度概算要求（特別重点要求・重点要求））【各府省の施策】

特別重点要求 全府省庁合計 52億円

【文部科学省】	1,547
● 温室効果ガス観測技術衛星後継機(GOSAT-2)の研究開発	400
● 温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」(GOSAT)の運用	1,146
【環境省】	3,700
● 温室効果ガス観測技術衛星後継機(GOSAT-2)開発体制整備等	3,700

重点要求 全府省庁合計 445億円

【内閣官房】	1,139
● 情報収集衛星光学7号機の開発	1,139
【内閣府】	202
● 宇宙空間の戦略的利用の推進	179
● 宇宙輸送戦略の立案	23
【総務省】	100
● 将来の衛星通信技術の検討	100
【文部科学省】	39,281
● 小惑星探査機「はやぶさ2」の開発	11,399
● 水循環観測技術衛星「しずく」(GCOM-W)のデータ利用研究	898
● 気候変動観測衛星「GCOM-C」の衛星開発	2,763
● 全球降水観測/二周波降水レーダ(GPM/DPR)のセンサ開発	7,990
● 雲エアロゾル放射ミッション/雲プロファイリングレーダ(EarthCARE/CPR)のセンサ開発	1,614
● 陸域観測技術衛星2号(ALOS-2)の衛星開発	14,618
【経済産業省】	2,495
● 超高分解能合成開口レーダの小型化技術の研究開発	2,495
【防衛省】	1,320
● 衛星通信回線の維持及び機能向上	1,001
● 宇宙状況監視システムの基礎的運用研究等	320

各府省庁予算の単位は百万円。
四捨五入の関係で合計は必ずしも一致しない。